

民間事業者と横浜市が連携し 社会的インパクト評価のモデル事業を実施

～子どもが安心して過ごせる居場所づくりに取り組みます～

横浜市では、市民や企業など、様々な担い手の皆様との対話を進め、それぞれが持つ資源やノウハウを活用することにより、社会的課題、行政課題の解決をはかる「共創」の取組を進めています。

近年、子どもを取り巻く環境が大きな社会問題となる中、身近な地域で家庭や学校のほかに、第三の場所（サード・プレイス）として、子どもが安心して過ごせる居場所を増やしていくことが求められています。

このたび、民間事業者と横浜市が連携し、家庭環境等に何らかの困難を抱える子どもを主な対象とした学習支援・生活支援（いわゆる「子ども食堂」）・居場所づくりを通じて、**社会的インパクト評価モデル事業**に取り組みます。

モデル事業のねらいと期待される効果・成果

この事業は、サービス提供を通じて生じる子どもの学習意欲向上などの**成果（アウトカム）を定量的・定性的に把握し、その結果をもとに「社会的インパクト評価」を実施することをねらい**としています。

<期待される効果>

- ・子どもの学習意欲・学力の向上、自己学習の習慣づくり、進学率の向上
- ・栄養バランスの取れた食事の提供による子どもの健康状態の改善
- ・子どもと地域のつながりの醸成によるコミュニケーション能力の向上
- ・子どもの進学や就職への意欲の向上
- ・ひとり親世帯等の支援

※「社会的インパクト評価」とは、短期・長期の変化を含め、事業や活動の結果として生じた社会的・環境的な変化、便益、学び、その他の効果を定量的・定性的に把握し、事業や活動について価値判断を加えることを指します。

※今回のモデル事業は、民間事業者からの寄附金を原資として実施します（行政からの費用償還はありません。）。

将来的には、民間投資等により民間事業者が社会的・公共的な事業を実施し、その成果に応じて行政から後払いで償還を行う「社会的インパクト投資」の仕組みを導入することを目指します。

モデル事業で提供するサービスの概要

■ 実施場所

コミュニティーサロン「おさん」（横浜市内南区）
（運営団体：社会福祉法人 たすけあい ゆい）

■ 事業開始日

平成 28 年 10 月 31 日（月曜日）

※モデル事業としては、平成 29 年度末まで

■ 開設時間

月～金曜日の午後 3 時から午後 8 時まで（年末年始、施設点検日等は休み）

■ 対象

家庭環境等に何らかの困難を抱える、周辺地域の小・中学生
ただし、希望する子どもの利用を妨げません。（最大収容人員 20 人程度）

■ 提供するサービス

- ・学習支援
週 3 回、地域住民の方々や大学生等のボランティアにより無償で実施します。
- ・生活支援（いわゆる「子ども食堂」）
夕食を提供します（1 食あたり小学生 100 円、中学生以上 350 円の自己負担）。
- ・居場所の提供
コミュニティーサロン「おさん」に、子どもが好きなときに立ち寄れます。



モデル事業実施場所の外観

（裏面あり）

モデル事業関係者の構成

次の民間事業者が市と協力してモデル事業に取り組みます。

【中間支援組織】株式会社 公共経営・社会戦略研究所

モデル事業の進捗管理、社会的インパクト評価計画の作成、サービス実施団体への助言、第三者評価機関との調整等、事業全体のコーディネートを行います。

【サービス実施団体】社会福祉法人 たすけあい ゆい

子どもの安心の居場所の運営、食事の提供、学習支援の実施等、実際のサービス提供の現場全般の運営を担います。

【資金提供者】ゴールドマン・サックス証券株式会社

モデル事業の実施、評価等に必要な経費を、CSRの寄附金として提供します。

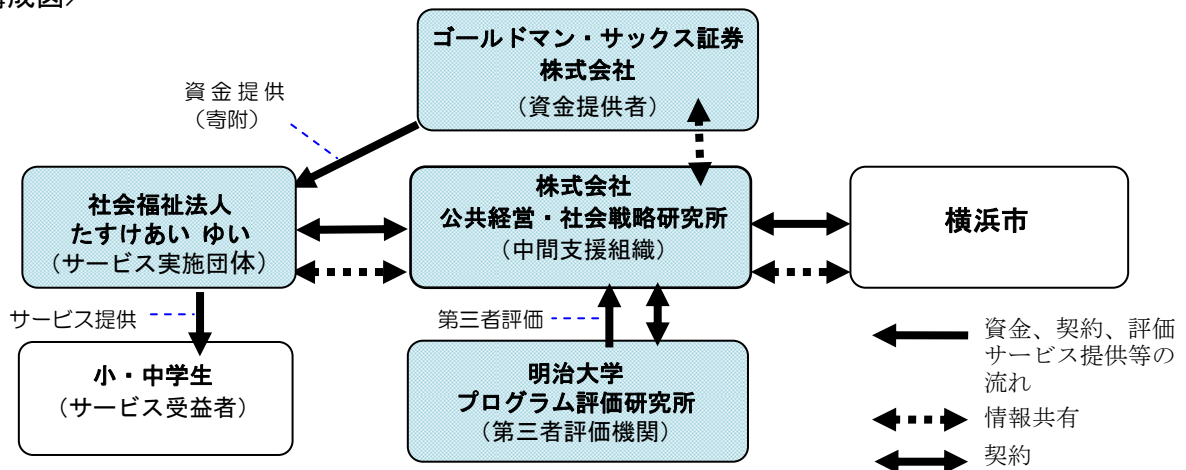
【第三者評価機関】明治大学プログラム評価研究所

社会的インパクト評価計画に基づき、実際のサービス提供による成果（アウトカム）が当初設定した成果目標に対してどの程度達成されているか、客観的に評価します。

【行政機関】横浜市

モデル事業の実施に関する地域、学校など関係機関との調整、各種情報提供、社会的インパクト評価計画作成支援等の後方支援を行います。

〈構成図〉



各モデル事業関係者の概要

■ 中間支援組織 株式会社 公共経営・社会戦略研究所

代表：代表取締役社長 塚本 一郎

所在地：東京都千代田区神田駿河台 2-1 明治大学グローバルフロント 7階 407E

明治大学発ベンチャー。「公共経営改革」「社会的投資収益率（SROI）等の社会的インパクト評価」「企業のCSR戦略」「社会的インパクト投資」などをテーマとした評価事業、調査研究・コンサルティング事業などに取り組むシンクタンク。

〈関連調査・研究実績〉

- 平成 26 年度「地域若者サポートステーション事業の費用対効果調査研究事業」（厚生労働省）
- 平成 27 年度「ソーシャルビジネス融資の政策効果測定」（日本政策金融公庫）
- 平成 28 年度「社会的インパクト評価の実践による人材教育・組織運営力強化調査に係る支援業務」（元請：新日本有限責任監査法人）（内閣府）
- 『ソーシャルインパクト・ボンドとは何か—ファイナンスによる社会イノベーションの可能性』（ミネルヴァ書房）10 月末刊行予定
- 米国、英国において SIB の開発・組成・実施をリードする諸団体に対する現地調査の実施

（次ページあり）

■ サービス実施団体 社会福祉法人 たすけあい ゆい

代 表：理事長 濱田 静江

所在地：横浜市南区睦町1-31-1

たすけあいグループ結として、1991年に設立された有償ボランティア市民グループから始まり、現在では、ケアプラザの運営、高齢者福祉事業、障害者福祉事業、児童福祉事業を行う。

主な活動場所は、横浜市南区、磯子区。地域における多世代交流や福祉の向上のため、本事業の実施場所である「コミュニティサロンおさん」を2015年12月に前団体より引継ぎ運営。

■ 資金提供者 ゴールドマン・サックス証券株式会社

代 表：代表取締役社長 持田 昌典

所在地：東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー

投資銀行業務、証券業務及び投資運用業務を中心に、企業、金融機関、政府機関、個人など多岐にわたるお客様を対象に幅広い金融サービスを提供している世界有数の金融機関。1869年に創業、ニューヨークを本拠地として、世界の主要な金融市場に拠点を擁しており、1974年に東京駐在員事務所開設。

米国初のSIB等、米国にて、幼児教育や元受刑者の再犯防止の分野等におけるSIBの投資の実績あり。日本においては東京都社会福祉協議会との協働で、子どもの貧困対策として児童福祉施設の子どもの教育支援、ひとり親就労支援等に取り組んでいる。横浜市の母子生活支援施設の子どもたちへも、社員によるボランティア活動が行われている。

■ 第三者評価機関 明治大学プログラム評価研究所

代 表：明治大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科教授 源 由理子

所在地：東京都千代田区神田駿河台1-1

プログラム評価理論とその適用に関する研究を行う。本モデル事業の第三者評価を担当する明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授の北大路信郷氏は、公共経営論を専門とし、総務省 政策評価に関する有識者会議（座長）、総務省 行政事業レビュー外部有識者会議（座長）、総務省 政策評価に関する研究会（会長）、千葉県 政策評価委員会委員等を歴任。

モデル事業におけるその他の公民連携の取組

今回のモデル事業の趣旨に賛同し、横浜市と包括連携協定を締結している佐川急便株式会社に、食品等の運搬にご協力いただく予定です。

お問合せ先

政策局共創推進課長

梅澤 厚也

Tel 045-671-4394